

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 日本ビジネスシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5036 URL https://www.jbs.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧田 幸弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 CFO (氏名) 勝田 耕平 TEL 03 (6778) 7336
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 2024年6月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年9月期第2四半期 | 53,937 | 15.7 | 2,507 | 13.4 | 2,470 | 13.9 | 370 | △74.1 |
| 2023年9月期第2四半期 | 46,614 | — | 2,211 | — | 2,168 | — | 1,430 | — |

（注）包括利益 2024年9月期第2四半期 412百万円（△71.5%） 2023年9月期第2四半期 1,445百万円（-％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年9月期第2四半期 | 8.13 | 7.75 |
| 2023年9月期第2四半期 | 31.75 | 30.19 |

（注）1. 2023年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年9月期第2四半期 | 53,404 | 22,180 | 41.5 |
| 2023年9月期 | 49,608 | 22,221 | 44.8 |

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 22,180百万円 2023年9月期 22,221百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 | — | 20.00 | — | 10.00 | — |
| 2024年9月期 | — | 12.00 | — | — | — |
| 2024年9月期（予想） | — | — | — | 13.00 | 25.00 |

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2023年9月期の1株当たり期末配当金は20.00円となり、1株当たり年間配当金は40.00円となります。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 126,800 | 12.4 | 5,100 | 21.6 | 5,100 | 17.3 | 1,500 | △55.2 | 32.91 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年5月14日）公表いたしました「特別損失の計上（のれんの減損損失）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年9月期2Q | 48,366,400株 | 2023年9月期 | 48,366,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年9月期2Q | 2,784,385株 | 2023年9月期 | 2,794,679株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年9月期2Q | 45,576,425株 | 2023年9月期2Q | 45,053,822株 |

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年10月1日~2024年3月31日)における国内経済は、エネルギー・原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、金利の変動による為替動向等の影響はありましたが、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加など景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、国内IT市場においては、幅広い業種にわたり、各企業のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は引き続き旺盛で、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたIT投資需要が底堅く推移しました。さらに、各クラウドベンダー及びメーカーの生成AIに対する開発競争が加速していることに加え、マイクロソフト社をはじめとした各メーカーが日本への投資を積極的に進めており、今後、様々な分野でクラウド技術やクラウドサービスの活用が進んでいくことが期待されています。

このような環境のもと、当社グループは市場拡大が続くパブリッククラウド市場において、マイクロソフト製品を中心に、価値のデザインから構築、利活用促進までを一気通貫で担えるソリューション提供力を強みに、大手エンタープライズとの直接取引によって事業拡大を実現してまいりました。

また、今後の需要拡大が期待される顧客ニーズの高いセキュリティ及び生成AIにおける支援に注力しており、それぞれ新たなサービスの提供を開始しております。

セキュリティにおいては、2023年10月にリリースしましたセキュリティ監視サービス「JBS SOC」のサービスラインナップ拡充を図っていることに加え、2024年2月にはグローバルセキュリティエキスパート株式会社と共同で「クラウドセキュリティ診断 for Microsoft 365」の提供を開始しました。引き続き、クラウドネイティブ時代のゼロトラストに対応した支援を強化してまいります。

生成AIにおいては、2023年11月のマイクロソフト社による「Microsoft Copilot for Microsoft 365」の市場投入に歩調を合わせ、顧客への導入・定着化支援サービスを開始しております。また、生成AIに関する知見を強化すべく、他社に先駆けて、ITサービス業界で日本初となる「Microsoft Copilot for Microsoft 365」の全社導入を開始しており、社内の活用データの収集・分析により、今後の提供サービスの開発・支援に活かしてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は53,937百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は2,507百万円(同13.4%増)、経常利益は2,470百万円(同13.9%増)と増収増益になった一方で、連結子会社である株式会社ネクストスケープにかかるのれんの減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は370百万円(同74.1%減)となりました。

セグメント別の経営成績(売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は次の通りであります。

(クラウドインテグレーション事業)

当第2四半期連結累計期間は、旺盛なクラウド需要を背景に案件が増加し、売上が拡大した一方、一部の大型案件の納期変更及び株式会社ネクストスケープにおける案件の長期化等によりコストが増加し、売上高は11,633百万円(前年同期比7.6%増)、セグメント利益は1,604百万円(同4.8%減)となりました。

(クラウドサービス事業)

当第2四半期連結累計期間は、新規顧客の獲得及び既存顧客との契約拡大などの営業強化により売上が拡大したことに加え、マネージドサービスなどの自社サービスの拡販により売上総利益率が改善した結果、売上高は9,036百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は1,496百万円(同36.0%増)となりました。

(ライセンス&プロダクツ事業)

当第2四半期連結累計期間は、顧客企業のクラウド活用促進により既存顧客に対するライセンス販売のアップセル及びクロスセルが進んだことに加え、物販の販売が好調に推移した結果、売上高は33,261百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益は983百万円(同21.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて2,976百万円増加し、28,811百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が4,913百万円増加した一方で、現金及び預金が1,767百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて819百万円増加し、24,593百万円となりました。これは主に、有形固定資産が2,637百万円増加した一方で、無形固定資産が1,899百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べて3,795百万円増加し、53,404百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて4,136百万円増加し、21,322百万円となりました。これは主に、買掛金が5,050百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べて300百万円減少し、9,901百万円となりました。これは主に、長期借入金が319百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて3,836百万円増加し、31,224百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて40百万円減少し、22,180百万円となりました。これは主に、利益剰余金が85百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は41.5%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比べて1,767百万円減少し、3,578百万円となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が1,695百万円減少し、現金及び現金同等物に係る換算差額により71百万円減少したことによるものです。

なお、当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1,583百万円の増加（前年同四半期は2,372百万円の減少）となりました。

これは主に、仕入債務の増加額5,050百万円、減損損失1,720百万円による増加があった一方で、売上債権及び契約資産の増加額4,294百万円、契約負債の減少額1,599百万円による減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2,356百万円の減少（前年同四半期は3,536百万円の減少）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出2,210百万円、投資有価証券の取得による支出73百万円による減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、922百万円の減少（前年同四半期は1,605百万円の増加）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出769百万円、配当金の支払額455百万円による減少があった一方で、長期借入れによる収入500百万円による増加があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想については、本日（2024年5月14日）公表いたしました「特別損失の計上（のれんの減損損失）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載させていただきました通り、当社の連結子会社である株式会社ネクストスケープについて、買収時に超過収益力を前提としたのれんを計上しておりましたが、事業計画の見直しを行った結果、当初想定していた収益の達成が困難であると判断したことから、2024年9月期第2四半期において、特別損失として1,720百万円（のれんの減損損失）を計上いたしました。特別損失の発生により、連結通期業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益について、以下の通り修正させていただきました。

なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 126,800 | 百万円 5,100 | 百万円 5,100 | 百万円 3,450 | 円 銭 75.70 |
| 今回修正予想（B） | 126,800 | 5,100 | 5,100 | 1,500 | 32.91 |
| 増減額（B－A） | － | － | － | △ 1,950 | |
| 増減率（％） | － | － | － | △ 56.5 | |
| （ご参考）前期実績 （2023年9月期） | 112,800 | 4,192 | 4,349 | 3,350 | 73.96 |
| 前年同期比増減率 （％） | 12.4 | 21.6 | 17.3 | △ 55.2 | |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,345 | 3,578 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 15,904 | 20,818 |
| 棚卸資産 | 1,044 | 1,867 |
| その他 | 3,558 | 2,550 |
| 貸倒引当金 | △17 | △3 |
| 流動資産合計 | 25,834 | 28,811 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 7,486 | 8,099 |
| 土地 | 7,552 | 8,652 |
| その他（純額） | 1,138 | 2,062 |
| 有形固定資産合計 | 16,177 | 18,815 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,835 | — |
| その他 | 443 | 378 |
| 無形固定資産合計 | 2,278 | 378 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 5,337 | 5,427 |
| 貸倒引当金 | △19 | △28 |
| 投資その他の資産合計 | 5,318 | 5,399 |
| 固定資産合計 | 23,774 | 24,593 |
| 資産合計 | 49,608 | 53,404 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,228 | 10,279 |
| 短期借入金 | 1,500 | 1,300 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,538 | 1,588 |
| 未払法人税等 | 333 | 440 |
| 賞与引当金 | 1,790 | 1,612 |
| 受注損失引当金 | 40 | 239 |
| その他 | 6,752 | 5,862 |
| 流動負債合計 | 17,185 | 21,322 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 9,285 | 8,966 |
| 役員退職慰労引当金 | 376 | 359 |
| 修繕引当金 | 165 | 200 |
| その他 | 374 | 375 |
| 固定負債合計 | 10,201 | 9,901 |
| 負債合計 | 27,387 | 31,224 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 539 | 539 |
| 資本剰余金 | 8,648 | 8,650 |
| 利益剰余金 | 13,089 | 13,004 |
| 自己株式 | △298 | △297 |
| 株主資本合計 | 21,979 | 21,896 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 241 | 283 |
| その他の包括利益累計額合計 | 241 | 283 |
| 新株予約権 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 22,221 | 22,180 |
| 負債純資産合計 | 49,608 | 53,404 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 46,614 | 53,937 |
| 売上原価 | 40,455 | 46,869 |
| 売上総利益 | 6,158 | 7,067 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,947 | 4,560 |
| 営業利益 | 2,211 | 2,507 |
| 営業外収益 | | |
| 持分法による投資利益 | 64 | 43 |
| 保険解約返戻金 | — | 40 |
| その他 | 56 | 34 |
| 営業外収益合計 | 121 | 119 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20 | 32 |
| 為替差損 | 41 | 98 |
| その他 | 101 | 25 |
| 営業外費用合計 | 163 | 156 |
| 経常利益 | 2,168 | 2,470 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 3 |
| 新株予約権戻入益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 1,720 |
| その他 | 2 | 0 |
| 特別損失合計 | 2 | 1,720 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,166 | 752 |
| 法人税等 | 736 | 382 |
| 四半期純利益 | 1,430 | 370 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,430 | 370 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,430 | 370 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15 | 41 |
| その他の包括利益合計 | 15 | 41 |
| 四半期包括利益 | 1,445 | 412 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,445 | 412 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,166 | 752 |
| 減価償却費 | 249 | 321 |
| 減損損失 | — | 1,720 |
| のれん償却額 | 61 | 114 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △64 | △43 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3 | △6 |
| 支払利息 | 20 | 32 |
| 為替差損益(△は益) | 49 | 69 |
| 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) | △5,401 | △4,294 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 261 | △823 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | 163 | 205 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,626 | 5,050 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 251 | 148 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | △361 | △1,599 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △203 | △125 |
| その他 | 180 | 219 |
| 小計 | △1,003 | 1,741 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 7 |
| 利息の支払額 | △21 | △32 |
| 保険解約返戻金 | — | 40 |
| 法人税等の支払額 | △1,350 | △174 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,372 | 1,583 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △919 | △2,210 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △246 | △73 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 95 | 39 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △2,576 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △67 | △43 |
| 短期貸付金の純増減額(△は増加) | 193 | 0 |
| その他 | △15 | △69 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,536 | △2,356 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | △200 |
| 長期借入れによる収入 | 2,800 | 500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △479 | △769 |
| 配当金の支払額 | △897 | △455 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | 181 | 2 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,605 | △922 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △21 | △71 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △4,325 | △1,767 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,569 | 5,345 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,243 | 3,578 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------------------|--------------|---------------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | クラウド インテグレ ーション | クラウド サービス | ライセンス &プロダク ツ | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,816 | 7,666 | 28,124 | 46,606 | 7 | — | 46,614 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 7 | 7 | — | 14 | — | △14 | — |
| 計 | 10,823 | 7,673 | 28,124 | 46,621 | 7 | △14 | 46,614 |
| セグメント利益 | 1,685 | 1,100 | 811 | 3,596 | 3 | △1,389 | 2,211 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,389百万円には、のれんの償却額△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,328百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に実施した株式会社ネクストスケープとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額の修正は生じておりません。なお、資産については、事業セグメントに配分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------------------|--------------|---------------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | クラウド インテグレ ーション | クラウド サービス | ライセンス &プロダク ツ | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,633 | 9,036 | 33,261 | 53,931 | 6 | — | 53,937 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 13 | — | 20 | 34 | — | △34 | — |
| 計 | 11,646 | 9,036 | 33,282 | 53,965 | 6 | △34 | 53,937 |
| セグメント利益 | 1,604 | 1,496 | 983 | 4,083 | 3 | △1,579 | 2,507 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額△1,579百万円には、のれんの償却額△114百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△1,465百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で
あります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの減損損失を計上したため、当第2四半期連結累計期間においてのれんが1,720百万円減少しており
ます。なお、資産については、事業セグメントに配分しておりません。